

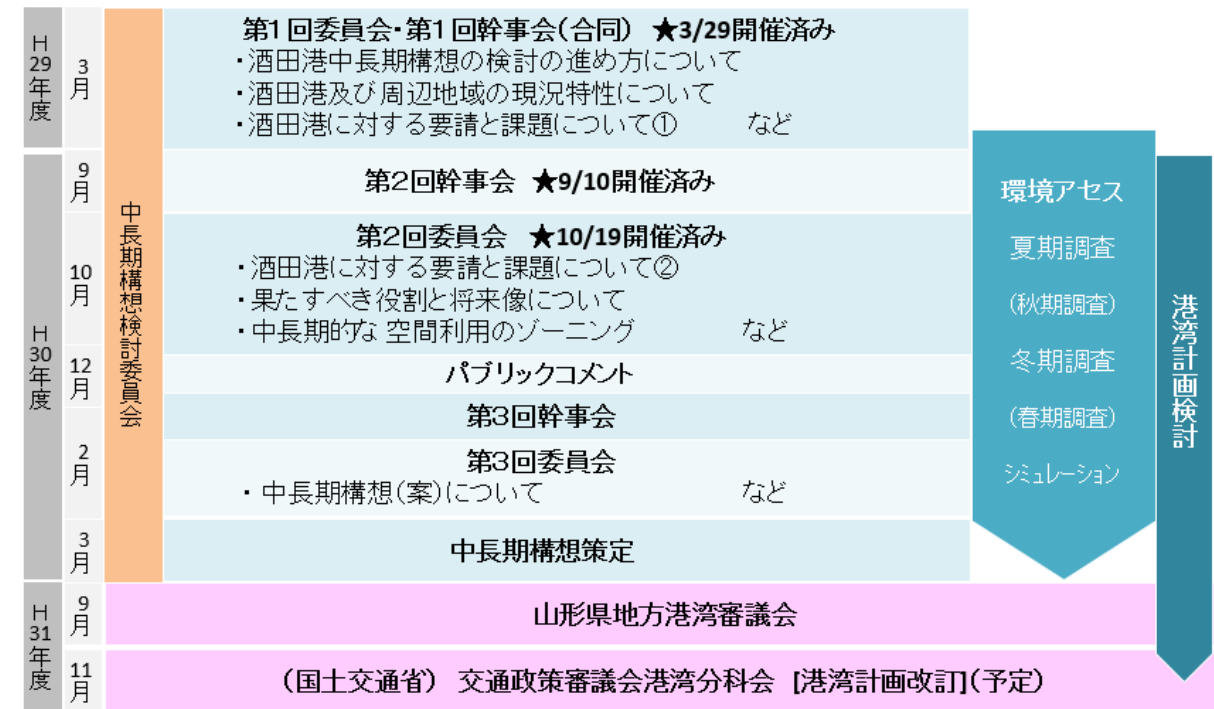
「第2回酒田港中長期構想検討委員会」 が開催されました

10月19日（金）、酒田市産業会館にて、酒田港における今後20～30年程度の中長期的視点から空間利用の基本的方向を示す中長期構想の策定に関し、助言、提言を行う酒田港中長期構想検討委員会（山形県主催 委員長：徳永幸之宮城大学教授）の2回目の会合が開かれました。

委員会では、酒田港の将来像と目指すべき方向性や中長期的な空間利用のゾーニングについて事務局から説明があり、出席された委員の方々からたくさんのご意見が出され、関係者の関心が高いことが伺えました。今後、山形県でパブリックコメントを実施し、委員会で出た意見を踏まえ、年度中に中長期構想が策定される予定です。



第2回中長期構想検討委員会の様子



酒田港中長期構想の検討の進め方（委員会資料から抜粋）

